

CIVIC CREATIVE BASE TOKYO

シビック・クリエイティブ・ベース東京

2026年度 アート・インキュベーション・プログラム | 募集要項

2026年3月19日

【ミッション】

クリエイティブ × テクノロジーで 東京をより良い都市に変える表現・探求・アクションをつくり出す

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] は、アートとデジタルテクノロジーの活用を通じて人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点であり、実験と創作のための開かれたラボとして、都市に新しい価値をもたらすことを目指しています。

CCBTのコアプログラムのひとつ「アート・インキュベーション」は、クリエイターに新たな創作活動の機会を提供し、そのプロセスを市民（シビック）に開放することで、都市をより良く変える表現・探求・アクションの創造を目指すプログラムです。公募・選考によって選ばれる5組のクリエイターは、「アーティスト・フェロー」として、企画の具体化と発表、創作過程の公開やワークショップ、トークイベント等を実施し、CCBTのパートナーとして活動します。

2026年度は、社会を映し出す記号でありながら、個の表現可能性を限りなく有するファッションの性質を手がかりに、市民の自発的なムーブメントによる「まだない何か」を形づくる（シビック・ファッション）企画・表現活動を募集します。

1. CCBTアーティスト・フェローの活動とは

(1) 新たな表現の創造・研究開発および発表

CCBTを拠点に創作活動・研究開発等を行い、その成果をCCBTおよび都内にて発表・展開する。

(2) 創作活動・研究プロセスの公開

創作活動およびそのプロセスの公開や、ワークショップ、レクチャー、ハッカソン等の開催を通じ、市民がテクノロジーを通じた創造性を学ぶ機会を創出する。

(3) 多様な人々との協働と共創

市民、アーティスト、デザイナー、エンジニア等、CCBTに集う人々、さらにはCCBTを取り巻く様々な主体との協働を牽引し、未来を共創する場を創造する。

2. 募集活動テーマ

「シビック・ファッション」

時々の社会的背景や制度を映し出す記号でありながら、多面的な個の表現可能性を限りなく有するファッション。その性質を起点に、テクノロジーによる変容可能性を手がかりとして既存の常識や習慣を超えた「まだない何か」を一時的に“成し”、実践するあらゆるクリエイティブな企画・表現活動。

例えば、

- ・都市空間における人のふるまいや関係性の変容を触発するパフォーマンス作品
- ・音の共鳴を媒介として、人々の集まりや行為を触発するサウンドアート作品
- ・身体感覚や文化的背景の差異を越えたコミュニケーションをデザインするツールの開発
- ・集団的な創造行為を触発する新しい祝祭的実践の提案
- ・都市・公共空間を新しいストリートに変容する仕掛けの提案
- ・人々の関係性や参加のあり方の更新から新しい公共のかたちを試作するパブリックアート
- ・身の回りのイメージや記号を再編集し、文化的文脈を提示するビジュアルアーカイブの制作
- ・都市や社会に潜むイメージ、物語やデータを収集し、新たな都市風景を描く映像作品
- ・消費ではなく循環を生み出す創造的な仕組みやコミュニティの提案
- ・テクノロジーの活用による感覚の拡張から、纏うことの定義を更新するファッションデザイン など

募集活動テーマについて

「衣服（ファッション）」そのものについて問うことが目的ではありません。一方で、記号としての衣服は、その時々の人々のふるまいや社会的背景を映し出してきました。そればかりか、世界の深刻な二極化をはじめとする、今日私たちが直面すべき喫緊の課題を露わにします。つまり、この世界を捉えるもう一つの視点になり得るのです。

CCBTがかつて所在していた渋谷の外れには「奥渋谷」、そして新たに拠点を設けた原宿には「裏原」と呼ばれるエリアがあります。これら集合体は、大衆的な「流行り（ファッション）」や消費文化に対するアンチテーゼとして発生しました。個々人の思想や価値観に基づく自由な編集と表現により、“中心”に一石を投じる市民の自発的なムーブメントだったのです。

そして、このような緊張関係なしに文化は更新されていかないことを、私たちは知っています。

ところで「ファッション（fashion）」は、ラテン語「ファクシオ（factio）」と同じ語源を持つ言葉です。「ファクシオ」は「つくること」「実践すること」、そして「集団的な行為」を意味します。

多様な文化的ムーブメントの痕跡が散らばる原宿。そこに新たに出現した、仕様も用途の縛りもない「空地」であるCCBTから、表層的なファッションでない——社会の常識や習慣、制度を超えた——まだない何かを一時的に“成す”あらゆる企画・表現活動を募集します。

わたしたち一人ひとりの自発的なムーブメントが、新しい共同体（都市）を形づくり、文化が更新され続けていくために。

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

3. フェローへのサポート内容

(1) 制作サポート

フェロー活動に対する経済的・環境的なサポートとして、1,000万円を上限とした制作費および制作活動やミーティング等に必要なスペースを提供する。

(2) レベルアップサポート

企画の具体化にあたって、メンターをはじめとする専門家によるアドバイス・技術支援等を受ける機会を提供する。

(3) プロモーションサポート

CCBTウェブサイト・SNSにおける情報発信、本プログラムを紹介するパンフレットや会場サイン等への掲載、作品や企画の記録・アーカイブの構築をサポートする。

(4) マネージメントサポート

作品や企画を広く公開するために必要となる会場手続き、会期運営、機器運用、作品設営等のマネージメントをサポートする。

メンター

四方幸子（キュレーター、批評家）、関治之（一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事）、津川恵理（建築家、ALTEMY代表） ほか ※後日発表します

4. 応募者・企画内容の条件

以下の(1)～(9)の全てを満たす応募者・企画内容を対象とします。

- (1) 日本在住であること。
- (2) 18歳以上であること。
- (3) 応募者(団体の場合は代表者)は、5年以上の活動履歴を有する、または、これまでに顕彰等受賞歴があること。
(選考にあたってはこれまでの活動歴等も考慮する)
- (4) 企画の実現に向け、メンターとの面談(3回程度)と、2027年3月に実施予定の成果報告会に参加が可能であること。
- (5) 応募した企画を2026年12月～2027年2月の間にCCBTまたは都内会場にて発表すること。
- (6) フェロー活動期間におけるリサーチや制作の過程、ならびに成果を映像(5分程度)にまとめて公開すること。
- (7) ワークショップやレクチャー、公開制作などの企画・実施を通じた創作プロセスの公開、成果発表(展覧会や公演等)、交流イベントの開催等、CCBTを拠点として活動する「コア活動期間」を延べ20日程度設けること。
- (8) フェロー活動期間を通して、SNS等を用いた継続的な情報発信を行い、活動の周知を行うこと。
- (9) フェロー活動を通じて生み出される知見や方法論、ソースコード、機器の活用方法、運営ノウハウ等のナレッジについて、市民をはじめ多様な人々がアクセスできるようオープン化に努めること。

5. フェロー委嘱予定期間

2026年7月1日から2027年3月31日まで

(委嘱期間中、CCBTの活動に多方面から参画すること)

※アーティスト・フェロー委嘱後、著作権の帰属や制作費等の支出に関し、運営事務局との契約締結を行います。

6. 応募方法

CCBTウェブサイト「アート・インキュベーション」ページより、応募フォームにアクセスの上ご応募ください。(※2026年4月1日14:00よりアクセス可能)

<https://ccbt.rekibun.or.jp/core-programs/art-incubation>

※応募には、応募フォームへの入力と、ファイルのアップロードが必須です。詳細については

【提出書類】を確認ください。

※応募は電子データでのみ受け付けます。郵送対応等はしていません。



【応募時の注意事項】

応募者が団体の場合は、団体名とともに必ず代表者および団体メンバー全員の氏名および所属先を登録すること。

団体名の例：『企画名』制作チーム/ユニット名/作家名の連名/企業名 等

【提出書類】

(1) 応募申請シート(定型様式)

応募者の基本情報、企画概要(企画名、企画概要、制作状況など)、他

(2) 企画提案書

形式自由(A4サイズ、背景白、最大15枚、PDFファイル(15MB以下))

※企画提案書のほか、参考となる映像等の提出も可能です。

※企画提案書には、上記1に記載されたCCBTアーティスト・フェローの活動およびCCBTのミッションを踏まえ、具体的な詳細が分かるよう、下記の内容を記載してください。

- ① コンセプト、作品形態、制作方法や技法、完成時の具体的なイメージなど
- ② 発表プランやプロジェクトの展開
- ③ CCBTアーティスト・フェローとしての具体的な活動計画
(CCBTの施設活用方法、CCBTでの活動日数、ワークショップ・レクチャー等の実施計画、広報計画など)
- ④ 実施体制(制作進行、広報、経理、テクニカル、インストラクター、デザイナーなど)
- ⑤ 制作スケジュール(2027年3月以降も制作、発表予定がある場合は併記すること)

(3) ポートフォリオ（これまでの活動や制作した作品が分かる資料）

形式自由（A4サイズ、背景白、最大15枚以内、PDF形式（15MB以下））

※PDF等資料のほか、映像（5分以内推奨）等の提出も可能です。

(4) 予算書（定型様式）

企画提案に係る必要経費を、定型様式に則って項目ごとに記載してください。なお、制作予算額（1,000万円上限）外に発生する、自己資金等の支出についても明記してください。

【留意事項】

- ・採択後に精算規則および予算執行方法の説明を行い、事務局協議の上で再度詳細な企画書および予算書を作成・提出いただきます。そのうえで、予算額を決定します。（決定した予算額を超える支出が発生した場合は自己負担）
- ・展示・上映・上演を行う場合は、発表にかかる会場費や機材レンタル費等を含んだ内容を提出してください。また、会場候補、日程候補も具体的に記載してください。
- ・応募者（個人／団体）ならびに応募者が所属する組織への企画費は、その他全体経費の10%を上限に積算を認めています。（実際の支払額は、採択額のうち使用した経費の10%を上限として成果発表終了後に確定します）
- ・支出対象期間は、委嘱日以降、2027年3月10日までです。予算の範囲内であっても、対象期間外の支出は認められません。
- ・他団体から助成金等による制作支援を予定している場合、明記してください。

【対象経費】

- ・旅費、材料費、借損費、消耗品購入費、資料購入費、通信運搬費、作品制作費等
- ・制作作業等に係る人件費（単価・工数、作業内容を明記）
- ・電車、バス、新幹線、飛行機、フェリー等の公共交通機関利用料金
- ・宿泊費：上限税込19,500円／一泊（宿泊の理由・日数を明記） 他

【対象外経費】

- ・航空・列車運賃の特別料金（ファーストクラス、ビジネスクラス、グリーン料金等）、タクシー料金
- ・飲食に係る経費（懇親会費、ケータリング・弁当等）
- ・消耗品以外の機材・物品（PCやカメラ、ソフトウェアなど）
※レンタルでの調達に係る経費は対象
※作品や成果の一部として使用する場合、協議の上、購入が認められる場合があります

7. 応募可能件数

同一応募者による、複数件の応募が可能です。ただし、重複して採択されることはありません。

8. 採択数

5組

9. 審査基準**(1) 企画のコンセプト・オリジナリティ**

企画提案内容に独創性があり、テクノロジーを活用した新たな技法の活用や表現に対するチャレンジがある。

(2) 企画の妥当性・実現性

ミッション、活動テーマに対しての提案内容が妥当であり、かつ予算やスケジュール、実施体制等、企画を具体化するための計画が適当である。

(3) フェロー活動の充実

創作活動の公開や、ワークショップ、レクチャー等の開催など、CCBTにおけるアーティスト・フェローとしての活動が具体的に提案されており、市民や都市によりよい変化をもたらすことが見込まれる。

10. 審査方法・スケジュール (予定)

提出された申請書類を事務局で精査し、審査員による書類審査（一次選考）、面接（二次選考）を経て決定します。

- ・ エントリー・申込期間：2026年4月1日（水）～4月19日（日）（応募資料等必着）
- ・ 一次選考（書類）：2026年5月上旬
- ・ 二次選考（面接）：2026年5月下旬
- ・ 選考結果発表：2026年6月中下旬（公式ウェブサイト内で発表）

審査員

四方幸子（キュレーター、批評家）、関治之（一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事）、津川恵理（建築家、ALTEMY代表）、小川秀明（CCBTクリエイティブディレクター）、ほか
*加えて、CCBTスタッフも審査に参加

11. フェロー決定

応募結果は採否にかかわらず、2026年6月中下旬（予定）にメールにて通知します。決定フェローの情報は、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] ウェブサイトにて公表します。申請件数や審査の進捗状況によって、通知・公表の時期が遅れることもありますので、あらかじめご了承ください。なお、採否の理由については、お答えしておりません。

12. フェロースケジュール (予定)

- ・ メンターとの面談：初回面談：2026年7月下旬
中間面談：2026年9月下旬
最終面談：2026年11月～2027年1月
- ・ 成果発表（作品等の発表）：2026年12月～2027年2月
- ・ 成果報告会：2027年3月

13. 個人情報の取扱い

申請書に記載された個人情報は、公益財団法人東京都歴史文化財団個人情報の保護に関する規定に則り、適正に管理いたします。ただし、審査や事後評価等のため審査員・メンターや外部有識者に提供することがあります。また、採択者の活動やシビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] のプログラムに関するお知らせ等をお送りする場合があります。

14. 参考

2022-2025年度 CCBTアーティスト・フェローの活動

<https://ccbt.rekibun.or.jp/core-programs/art-incubation>

本プログラムに関するお問い合わせ

CCBTアートインキュベーション・プログラム運営事務局 [TASKO内]（担当：加藤、向井、上原）

Email: contact@ccbt-art-incubation.jp

電話：03-6456-5210（受付時間：10:00～18:00（土日祝日を除く））